

企業会計 (外国為替) 6回目

オムロンエクスパートリンク

吉田

2020-11-18

原価計算について理解する

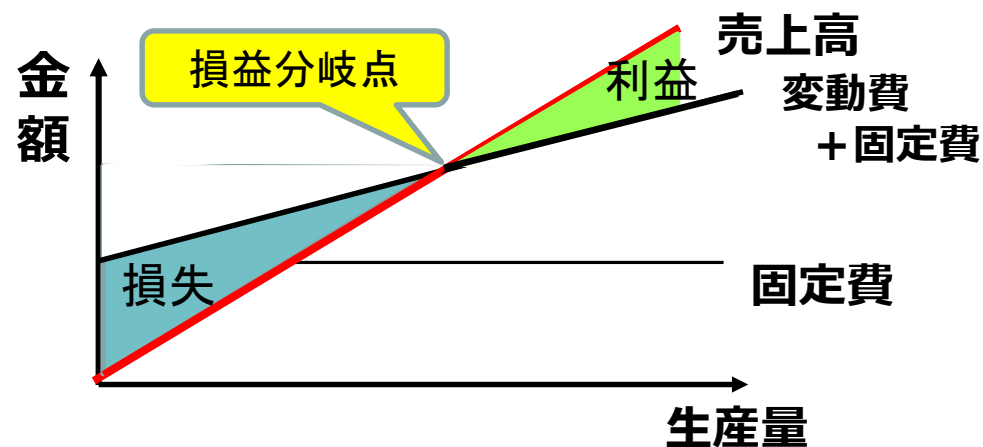
そのために

1. 原価の構成要素
2. 変動費／固定費
3. 損益分岐点

を、理解しましょう。

原価の要素（製品の原価を構成する要素）

1. 発生形態による分類
材料費・労務費・経費
2. 製品との関わり度合による分類
直接費・間接費
3. 生産量（操業度）との関係による分類
変動費・固定費



1. 原価要素とは、何ですか？

材料費、直接労務費、直接経費、製造間接費（購買、生産管理、品質管理、建物、総務など）

2. 付加価値率とは、何ですか？

付加価値（生産やサービスによって付け加えられた価値）を売上高で除した率

3. 損益分岐点とは、何ですか？

損益分岐点とは、収益と費用が一致し、損益がゼロとなる売上高

4. 売価1,000円／個、変動費400円／個、固定費1,000,000円の場合の損益分岐点の売上すべき個数はいくつですか？

付加価値率 = 付加価値600 (1000-400) ÷ 売上高1000 = 60%

損益分岐点売上高 = 固定費1,000,000 ÷ 付加価値 60%
= 1,666,666.66... 円

単価1,000円なので、1,666,667円 ÷ 1,000円 = 1,667個

or

1個当たり付加価値 = 1,000円 - 400円 = 600円

1,000,000円（固定費） ÷ 600円 = 1,666.66...個 → 1,667個

前回の質問等

Q1 パン屋の原価計算の際、自分では小麦粉を 4 : 1 で分けて原価計算していた。食パン用 8 kg (3,200円) たまごサンド用 2 kg (800円)。そうしないと小麦粉の 2 kg 分が重複計上されてしまうと思った。食パンの原価計算には既に 10 kg 分の小麦粉が計上され、さらにたまごサンドではその小麦粉を含んだ原価 355 円の食パンを計上すると重複のように思う。食パンを材料にたまごサンドを製造するという理屈は分かるが、厳密には正しい数字ではないと思った。

Q2 損益分岐点を出すとしたら、過去のデータについて分析するという過去の反省みたいに見えます。それとも未来の利益を予想するため予定の仕入れや売上で計算するのでしょうか。

Q3 子どもの頃、そろばんを習っていて、応用問題という項目があったのですが、今から思うと、まさに簿記でした。圓井先生が勤務されている間にも会計ソフトも色々変遷があったと思いますが、可能であれば、教えてください。

前回の質問等

C1 先生が例として挙げてくださる「パン屋の例題」はとても分かりやすくて助かります。
モノを作るのに償却費や製造間接費も含めて考えなければいけないということを初めて知りました。
この授業を通して、モノの見方が変わりました。売上を上げるためには「いかに付加価値をつけられるのか」が重要となってくるのですね。やはり商売をするというのは難しそうですね。

C2 オムロン様など大企業が人事や総務を別会社として委託することにより変動費にし固定費を下げる事が出来る仕組みがわかりました。付加価値率をどれくらいに設定するのがとても難しいと感じた。一度載せた付加価値を売れないからと言って下げると値打ちが激減する。かといって高ければ売れるような強気な値付けやプレミアム化も過熱するとどこか誠実さが無い。一方でフェアトレードのように適切な人件費を価格に乗せることはサステイナブルな製品の生産化にとっても重要なことだと思う。

C3 原価計算の説明がシンプルで理解しやすかったです。少しだけレベルアップした演習問題も解いてみたいと思いました。

C4 今まで何気なく付加価値という言葉を使っていましたが、それが数字として見れるのは面白いと思いました。

C5 設備投資が多額になるほど固定費を回収するまで利益はなかなか出ないので、今年商売を始めた会社は本当に厳しいなと思いました…。

外国為替の基本を理解する

そのために

1. 外国為替のそもそもの仕組みとは？
2. 為替の変動ってなんで起きるの？
3. 企業活動にどう関係するの？
4. 会社はどんな取り組みをしているの？

ということを、理解しましょう。

1 - 1. 為替とは

1) 国内為替

2) 外国為替

1 - 1. 為替とは

1) 国内為替

売買代金の受払いや資金の移動を、現金を輸送することなく行う手段

<江戸時代>



両替商



大阪商人
(売主)

江戸商人
(買主)

為替手形

<現代>



銀行



A
(売主)

B
(買主)

銀行振込、自動引落
クレジットカード
スマホ決済 etc..

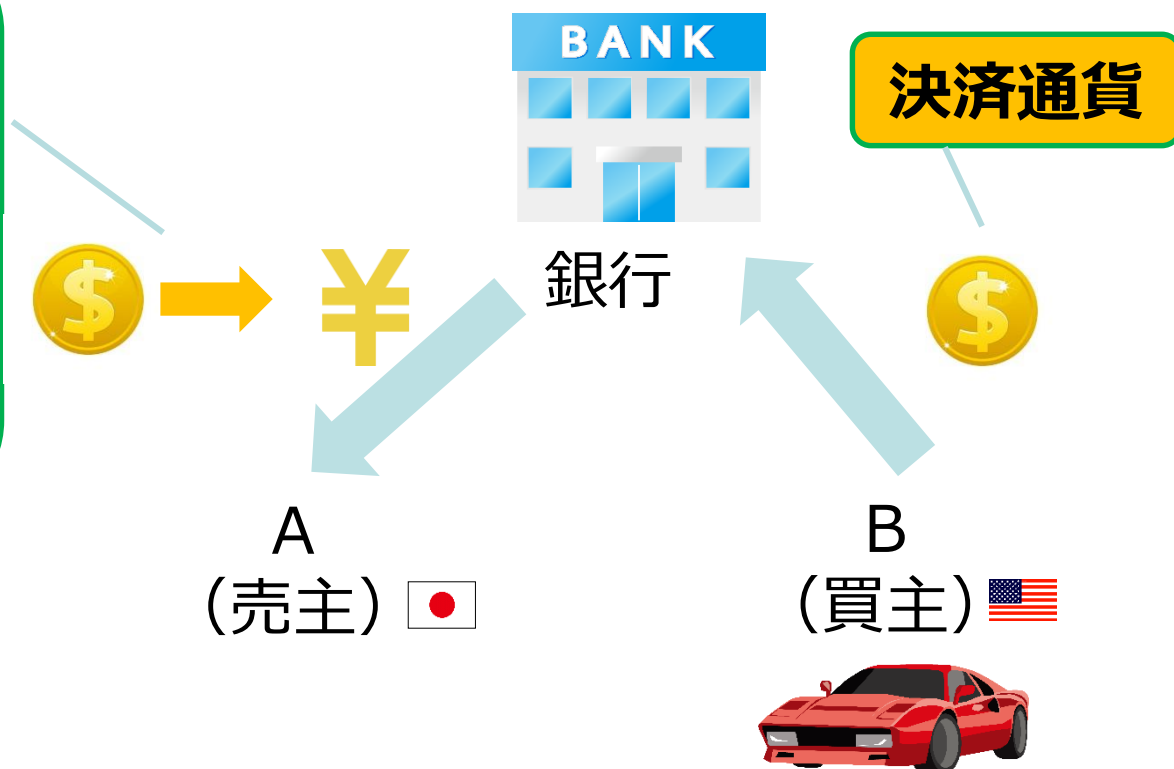
1 - 1. 為替とは

2) 外国為替

国内為替との違いは、通貨の交換を伴う 決済であること

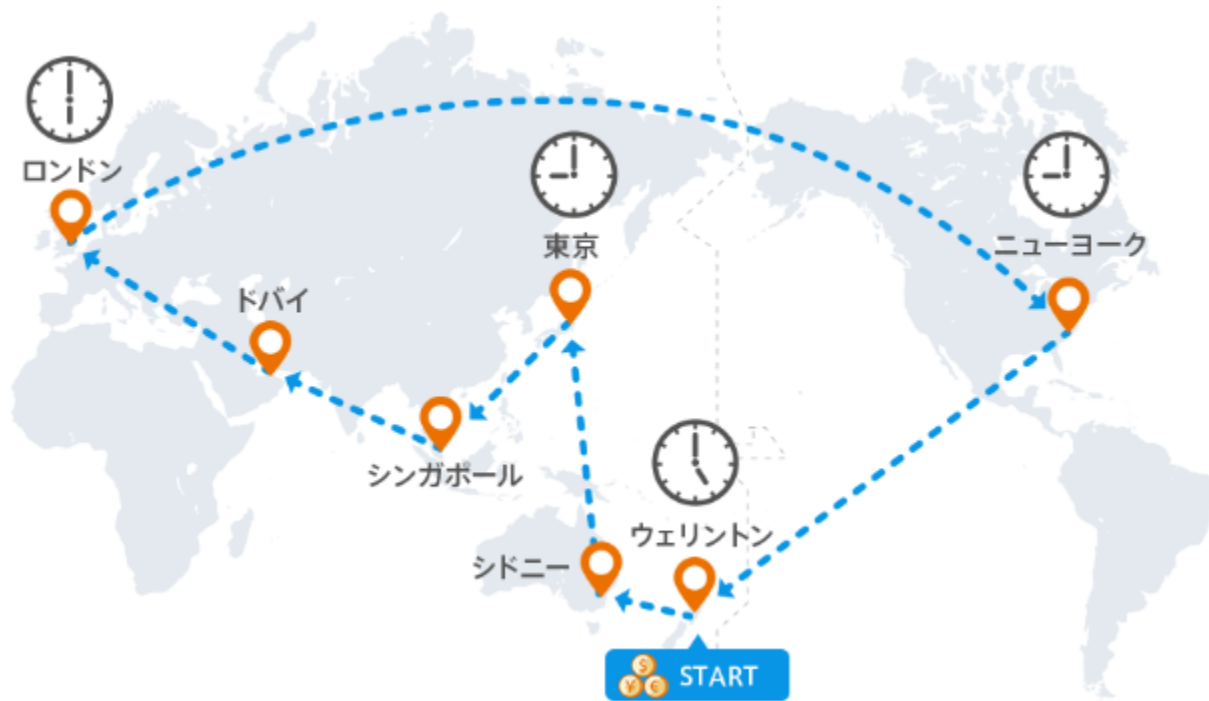
通貨を交換する市場
⇒ ()

通貨を交換(¥ ⇒ \$)
するときの比率
⇒ ()



1 - 2. 為替はいつどこで取引？

世界中のあらゆる場所で、土日を除いて24時間動いている



出所 : https://www.jibunbank.co.jp/guidance/basic_of_exchange/03/

1 - 3. 為替レート推移

■ 世界の出来事とドル/円相場の推移



出所：日銀時系列データよりFPアソシエイツ&コンサルティング株式会社が作成

出所：https://www.jibunbank.co.jp/guidance/basic_of_exchange/05/

1 - 4 . 円安・円高とは？

為替レートは () と () のバランスで決まる

まずは身近なリンゴで頭の体操

インフレ



120円

りんご 1 個あたり
100円

デフレ



80円



需要(買いたい量) > 供給(売りたい量)



の価値



りんご ()



の価値



円 ()



需要(買いたい量) < 供給(売りたい量)



の価値



りんご ()



の価値



円 ()

1 - 4 . 円安・円高とは？

次にドル円にチャレンジ！

1ドルあたり
100円



 120円



 80円



 需要(買いたい量) > 供給(売りたい量)

 の価値  ドル ()

 の価値  円 ()

 需要(買いたい量) < 供給(売りたい量)

 の価値  ドル ()

 の価値  円 ()

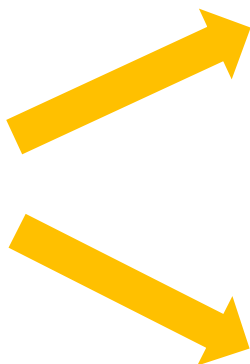
1 - 4 . 円安・円高とは？

ワークしましょう！



EUR/JPY

120円



130円 ユーロ高 or ユーロ安 ?
円高 or 円安 ?

110円 ユーロ高 or ユーロ安 ?
円高 or 円安 ?

2. 外国為替の変動要因は？

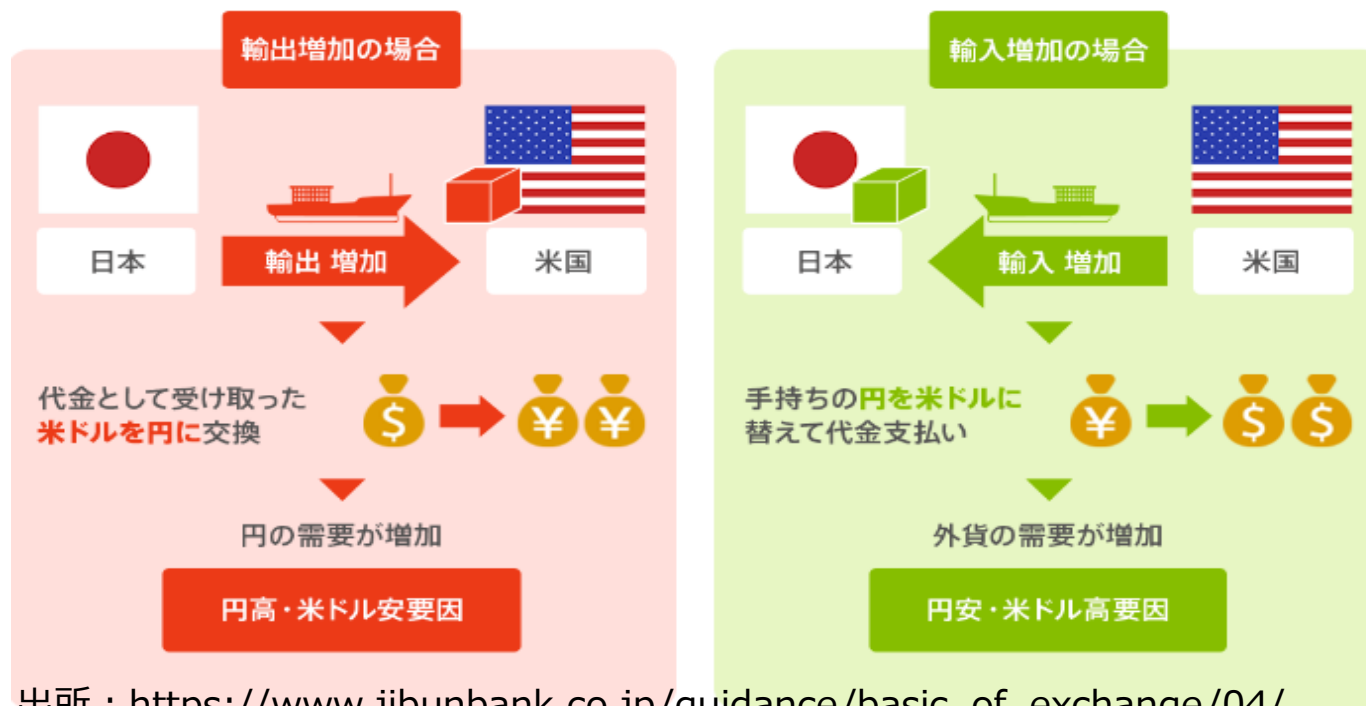
1) 中長期的要因

2) 短期的要因

2. 外国為替の変動要因は？

1) 中長期的要因

	円高ドル安 要因	円安ドル高 要因
1. 金利	● 金利上昇	● 金利下落
2. 貿易収支	● 貿易黒字	● 貿易赤字
3. 物価変動	● デフレ	● インフレ



出所 : https://www.jibunbank.co.jp/guidance/basic_of_exchange/04/

2. 外国為替の変動要因は？

2) 短期的要因





1. 政治的要因

2. 経済指標の発表

3. 地域紛争・戦争

4. 中央銀行の為替介入

3. 円安・円高が与える影響

	円高 80 円	現在 100 円	円安 120 円
USD/JPY			
 <日本⇒海外へ旅行者> 9,600円をドルに両替	120 ドル	96 ドル (9,600円÷100)	80 ドル
 <海外⇒日本へ旅行者> 100ドルを円に両替	8,000 円	10,000 円 (100ドル×100円)	12,000 円
 <パン屋> 海外から50ドルの小麦を輸入	4,000 円	5,000 円 (50ドル×100円)	6,000 円
 <車メーカー> 海外へ50,000ドルの車を輸出	4百万円	5百万円 (5万ドル×100円)	6百万円

3. 円安・円高が与える影響

	円高 (100円→80円)	円安 (100円→120円)
輸出企業 (自動車 メーカー)に とって ※5万ドルの車を 販売のケース	① () 円ベースでの収入減 (500万円⇒400万円) により、 採算が悪化 ↓ 以前と同じ500万円を受け取るには 外貨ベースの売価を値上げ (\$50,000⇒\$62,500) ↓ 価格競争力低下	② () 円ベースでの収入増 (500万円⇒600万円) により、 余裕が生じる ↓ 外貨ベースの売価を値下げ (\$50,000⇒\$41,666) しても、以前とほぼ同じ約500万円の受取可能 ↓ 価格競争で有利、更なる設備投資
輸入企業 (パン屋) にとって ※50ドルの小麦を 購入のケース	③ () 小麦粉を安く輸入できる (小麦¥5,000⇒¥4,000) ↓ パンの販売価格を下げる余裕がある ↓ パンがよく売れる、デフレ傾向	④ () 小麦粉の輸入価格が高くなる (小麦¥5,000⇒¥6,000) ↓ パンの販売価格を上げざるを得ない ↓ パンが売れなくなる、インフレ傾向

3. 円安・円高が与える影響

<輸出企業>

- ◆ 円高になると売上金額が減少するため、利益ベースでマイナスになる。
- ◆ 円安になると売上金額が増加するため、利益ベースでプラスになる。

<輸入企業>

- ◆ 円高になると売上原価が減少するため、利益ベースでプラスになる
- ◆ 円安になると売上原価が増加するため、利益ベースでマイナスになる

<P/L>

(+増加、-減少)

	輸出企業		輸入企業	
	円高	円安	円高	円安
売上高	-	+		
売上原価			-	+
売上総利益	-	+	+	-

為替リスクを回避する方法

短期的

為替デリバティブ(金融派生商品)
を活用する方法

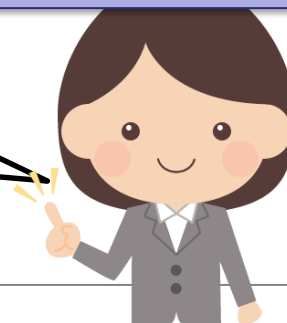
長期的

為替影響を受けにくい
事業構造にする方法

為替予約
通貨オプション
など

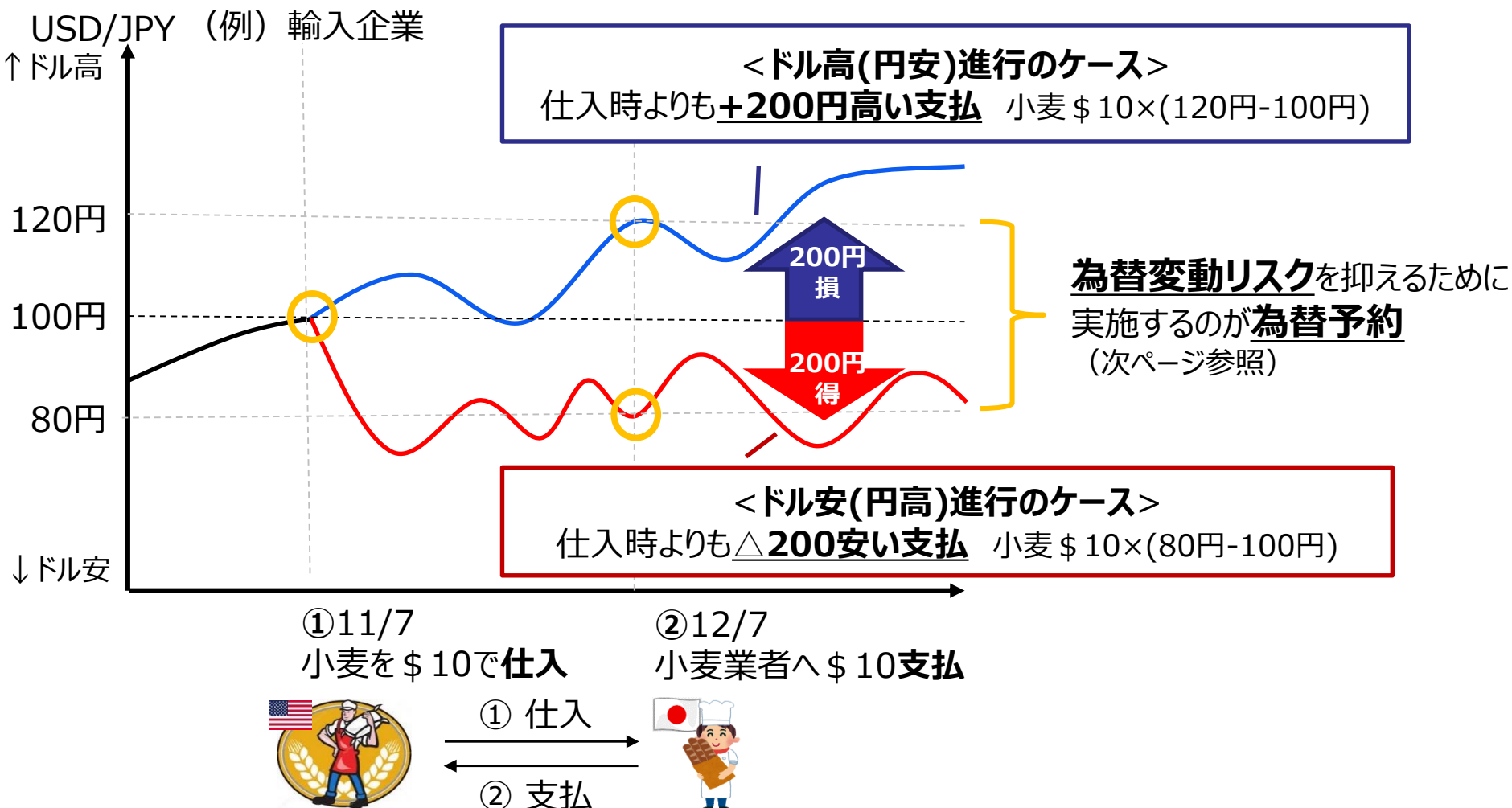
デリバティブ取引等を使って
為替リスクを回避
(hedge)することを
「為替ヘッジ」と言うよ。

海外生産拡大
現地調達率向上
など



4-2. 為替予約のしくみ

為替予約を実施しない場合、
仕入(売上)～決済までの為替変動により、営業外為替差損益が発生する



4 - 2 . 為替予約のしくみ

為替予約を実施した場合、
為替予約した時のレートで決済が可能になる。



- ②11月7日：
銀行に対して、**為替予約を締結した**。この時「**予約レート**」は**100円/\$**。
- ③12月7日：
約束通り、**1000円(+ハッジコスト)**を支払い、**\$10**を得た。
- ④得た**\$10**をもってそのまま小麦業者に支払った。

為替予約とは

将来の一定期日に通貨を交換する為替レートを、あらかじめ決めておくこと。

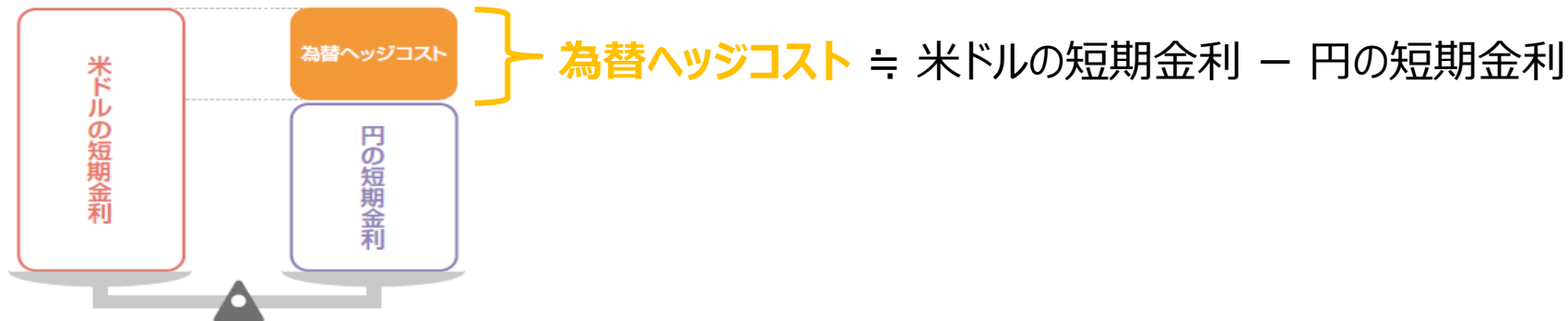
◎メリット：

予約した為替レートで通貨を売買できるので、その後の為替変動の影響を受けずに済む。

△デメリット：

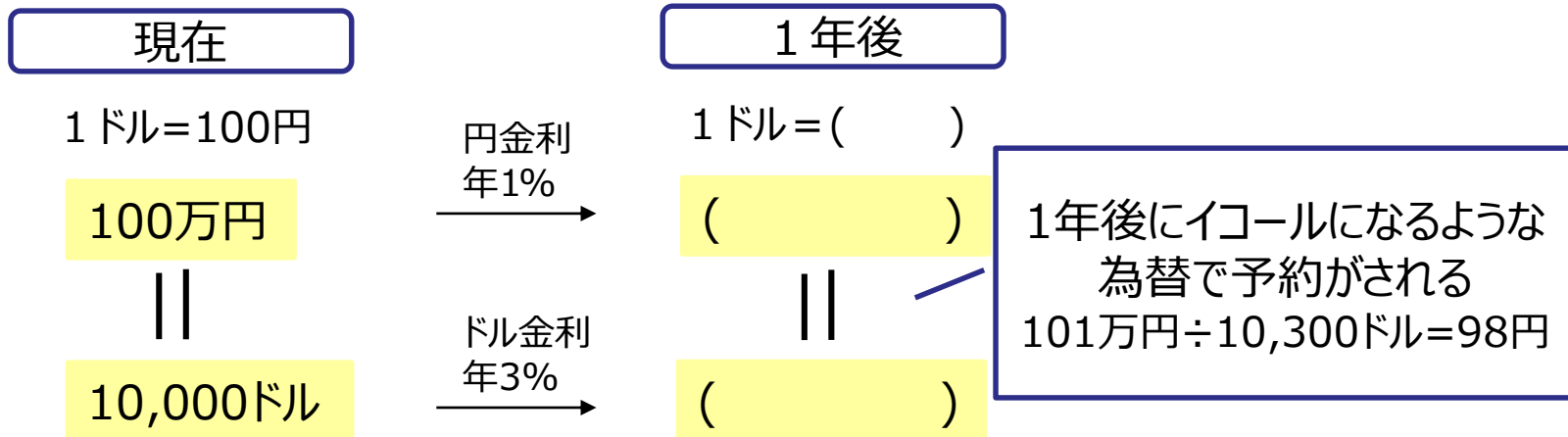
キャンセル不可（もし有利なレートになっていたら得られていた益を享受できない）
ヘッジコスト（銀行手数料、金利差分のコスト）がかかる

＜為替ヘッジコストとは＞ ※円の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合



＜為替ヘッジコストの計算＞

前提) 円金利：年1%、米ドル金利：年3%、1年後の為替予約を実施



現在の為替 100円 - 予約した為替 約 () 円 = 為替ヘッジコスト約 () 円

出所 : <https://www.nomura-am.co.jp/basicknowledge/data-lineup/pdf/foreign-investment.pdf>

オムロン 第82期有価証券報告書「事業等のリスク」より

(1) 経済状況

当社グループは、グローバルに事業展開しているため、マクロ経済の悪化・関連市場の動向・国内外の景気変動等により、当社グループの経営成績および財務状況が悪影響を受ける可能性がある。

また、積極的な海外市場への事業展開により、今後も海外事業比率は高まると想定している。そのため、当社グループは為替レートの変動に対して、海外生産拡大および現地調達率向上など、外貨建支出の増加による収支の為替バランスの改善に加え、短期では金融機関との為替先物予約による為替ヘッジに努めるなど、為替レートの変動に強い構造作りに取り組んでいる。しかし、米ドル、ユーロ、人民元などの主要通貨に加え新興国通貨の急激な円に対する為替レートの変動が長期に及んだ場合は、当社グループの経営成績および財務状況に影響を及ぼす可能性がある。